

ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2026

第26回学生限定立体アートコンペティション



エントランスデザインのコンセプト

今回のマンションが建つ土地「高井戸」は、武蔵野台地のやや高い場所に位置し、かつては水を得るために深く井戸を掘る必要がありました。そのため「高い場所にある井戸」「深い井戸」を意味して、「高井戸」という地名が生まれたとされています。

また、水質の良い井戸があったことから、「貴い井戸（たかいど）」に由来し「高井戸」という字が当てられたという説もあります。

こうした地名の由来にちなみ、本マンションのエントランスデザインには、水の流れる感じさせるモチーフが取り入れられています。

設置マンションのエントランスホールイメージ



設置マンションの外観イメージ

暮らしのそばに もっとアートを、

AACは、マンションのエントランスに常設展示する作品を募集する学生限定の立体アートコンペです。

あなたならこの空間のためにどんな作品をつくりませんか？

今年の設置場所は、

東京都杉並区に建設中のマンションのエントランスホールです。

この場所がここに住まう人、訪れる人にとって「アートと日常の出会いの場」となるよう、今年もアーティストを目指す学生の皆さまの作品を募集します。

一次審査通過者
制作補助金 20万円

実際に作品を制作していただきます
制作に関わる材料費、運搬費は事務局より支給いたします

最終審査
実際に仮設置

実際のマンションエントランスに作品を仮設置し、プレゼンテーションしていただきます

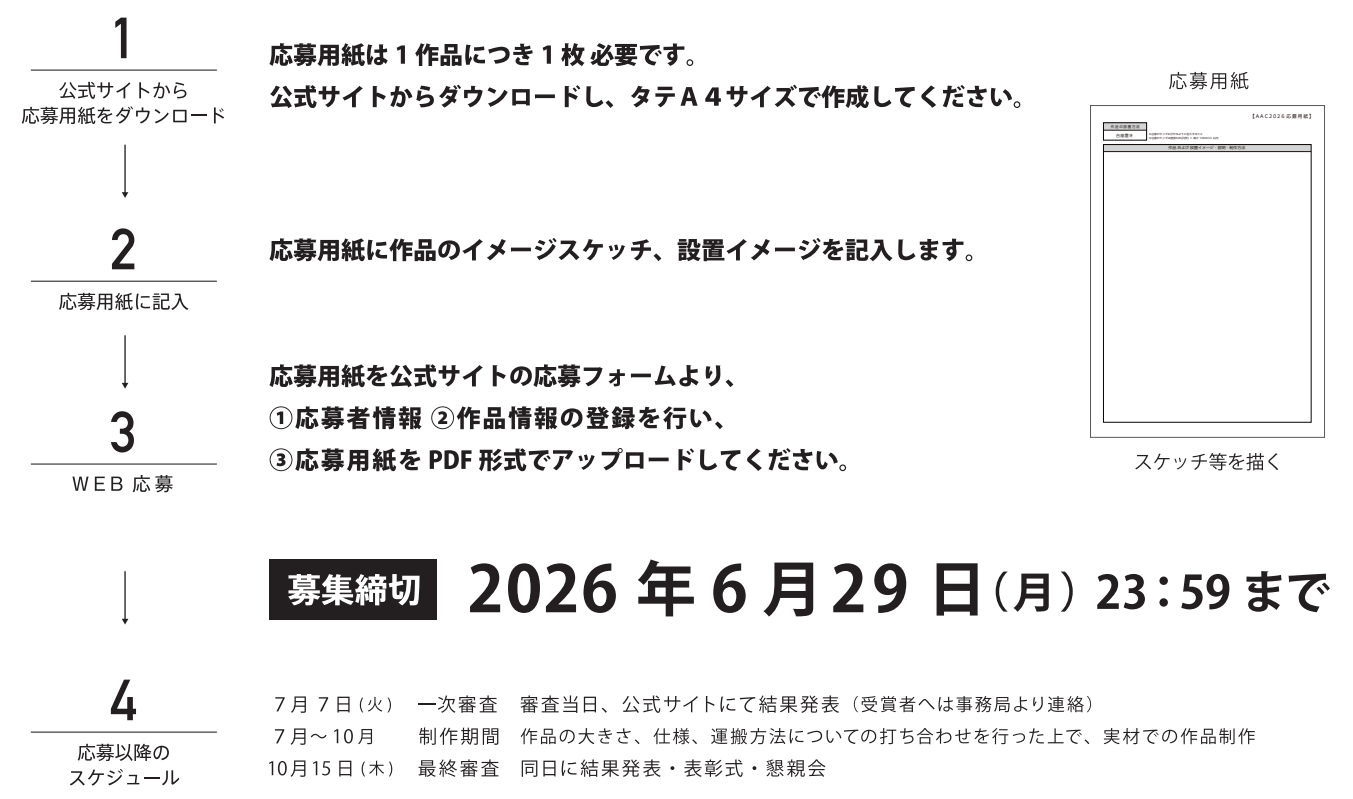
最優秀賞
賞金 100万円・常設展示

最優秀作品は、マンションのエントランスホールに常設展示されます

応募要項

募集内容	設置場所の空間を活かした立体アート作品
条件	1. 未発表のオリジナル作品に限る 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全で心地よさを感じさせる作品 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	当社が開発中のマンション「(仮称)アジュールコート下高井戸」のエントランスホール（東京都杉並区）
素材	石・鉄・FRP等、長期展示に耐えうる材質（既製品の使用は不可）
作品サイズ	展示スペース 直径 1,200 (円形) × 高さ 2,400 mm に収まるもの ※台座含む 重量 約 100 kg 以下 (人力で搬入出来るもの) ※エントランスホール図面はリーフレット内側を参照
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校・高校等で美術・芸術・デザイン・建築・空間演出等を学んでいる学生・研究生（グループ可）
応募点数	複数応募可
賞	最優秀賞 1点・・・・・・ 賞金総額 100万円（※美術旅行費を含む） 作品は作者名（グループ名）の入ったプレートと共にマンションに常設展示 優秀賞 2点以上・・・ 賞金 20万円 入選 数点・・・・・・ 賞金 5万円
制作補助金	一次審査を通過した入賞作品（3点以上）には制作補助金として 20万円 + 搬入費を支給 ※実制作打合せや最終審査会場、表彰式会場までの交通費、遠方者の宿泊費も別途支給（上限あり）

応募方法



詳しくは公式サイト・SNS をご覧ください▶
<https://aac.urbanet.jp/>



ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2026

第26回 学生限定立体アートコンペティション

「値段が高く手が届かない」、「どこで購入していいのかわからない」、「手に入れても置く場所がない」。日本においてアート、特に立体作品が生活文化のなかに入り込めない背景には、このような理由が存在しています。弊社はそんな状況の改善に一役買うことができると、これまで自社開発したマンションのエントランスホールに彫刻や絵画などの芸術作品を展示することで建築空間を豊かにし、アートと日常生活の出会い、そしてアートと建築の出会いをプロデュースしてきました。その取り組みの一環として、「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION」(AAC) は、2001 年より若手芸術家の発掘、支援、育成のために始まった学生限定の立体アートコンペです。AAC の特徴は、最優秀作品を買い上げ、マンションのエントランスホールに常設展示するという点です。日本には、学生に作品展示のチャンスを与えるコンペがなかったことから、AAC は各方面から高い評価をいただいております。また、2017 年にはメセナアワード 2017 優秀賞を受賞いたしました。今年も多くの学生の皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役会長 兼 CEO 服部信治

審査員



青野和子
審査員長

原美術館 ARC 館長
1985 年より原美術館 (東京・品川) に勤務。1988 年、別館ハラミュージアムアーク設立のため群馬県渋川市へ異動。「プライマルスピリット」展をはじめとする多数の企画展に携わる。1992 年、原美術館へ戻り、以降両館を行き来しながら横尾忠則、東宇、篠田桃紅、須田悦弘、笹口数、ヤン・フー・ド、アントニ タビエス等の個展を手掛け、コレクション管理、教育普及プログラム、ニュースレター編集なども担当。2008 年、ハラミュージアムアーク設立 20 周年親海海増築記念展「まなざしはときをこえて」展を開催。2013 年、再度渋川へ副館長兼主任学芸員として異動し、両館同時開催となった「加藤泉—LIKE A ROLLING SNOWBALL 展」や「鬼頭健吾—Multiple Star 展」等を担当。2021 年、原美術館閉館に伴う両館の統合により、ハラミュージアムアーク改称原美術館 ARC の館長となり、品川より移設した現代美術作品、古美術作品の保存と公開をはじめとする美術館業務全般を統括し今日に至る。美術大学非常勤講師や審査委員など外部協力多数。



大巻伸嗣
審査員

美術作家
東京芸術大学大学院彫刻専攻修了。主な個展に、「Interface of Being 真空のゆらぎ」(国立新美術館,2023)、「地平線のゆくえ」(弘前レンガ倉庫美術館,2023)、「The Depth of Light」(A4 美術館 / 成都,2023)、「存在のざわめき」(関連美術館 / 台北,2020)、「存在の証明」(箱根彫刻の森美術館,2012) など。Noor Riyadhi(2025)、あいちトリエンナーレ (2016)、越後妻有アートトリエンナーレ (2014-)、アジアパンフィットトリエンナーレ (2009)、横浜トリエンナーレ (2008) などの国際展にも多数参加。近年は、「Rain」(愛知県芸術劇場,2023)、横浜ダンスコレクション「Futuristic Space」(横浜赤レンガ倉庫,2019)、「Louis Vuitton 2016-17 FW PARIS MEN'S COLLECTION」(アンドレ・シトロエン公園 / パリ,2016) などパフォーマンス作品も多く展開。東京ガーデンプレイス紀尾井町、Ijst(オランダ)、Morpheus hotel at City of Dreams(マカオ)、高松港(香川)などパブリックアートも世界各地で手がける。第 8 回円空賞 (2015)、第 27 回タカシマヤ美術賞 (2016)、令和 5 年度 (第 74 回) 芸術奨励文部科学大臣新人賞 (2023)。



内田真由美
審査員

アート・コーディネーター
三重県生まれ。三重大学教育学部美術学科卒業。新聞社、出版社、ギャラリー勤務を経てフリーランスのアートコーディネーターとして活動。展覧会やアートプロジェクトの企画、コーディネートや広報などを手掛け、多数の幅広いアートの現場に携わる。企画、コーディネートした主な展覧会・プロジェクトに「第 2 回大地の芸術祭 プレイベント < 天空散華 > 妻有に乱舞するチュールアップ〜中川幸夫「花狂」(2002 年)、「中川幸夫 魂の花」(2003 年)、「草間彌生 クサマトリックス」(2004 年)、「荒木経惟 東京人生」(2006 年)、「AERA 創刊 20 周年記念写真展 坂田栄一郎 LOVE CALL—時代の肖像—」(2008 年)、「大野智 FREESTYLE」(2008 年)、「ネオテニー・ジャパニー高橋コレクション」(2008-10 年)、「三菱一号館竣工記念写真展 一号館アルバム」(2009 年)、「梅佳代写真展 ヴェムペ」(2010 年)、「荒木経惟写真展 男—アラーキーの裸—顔—」(2015 年)、「浅田政志写真展『私の家族』」(2020-21 年) ほか。「HOKUSAI—ぜんぶ、北斎のしわざでした。展」(2025 年) 企画協力など。



服部信治
審査員

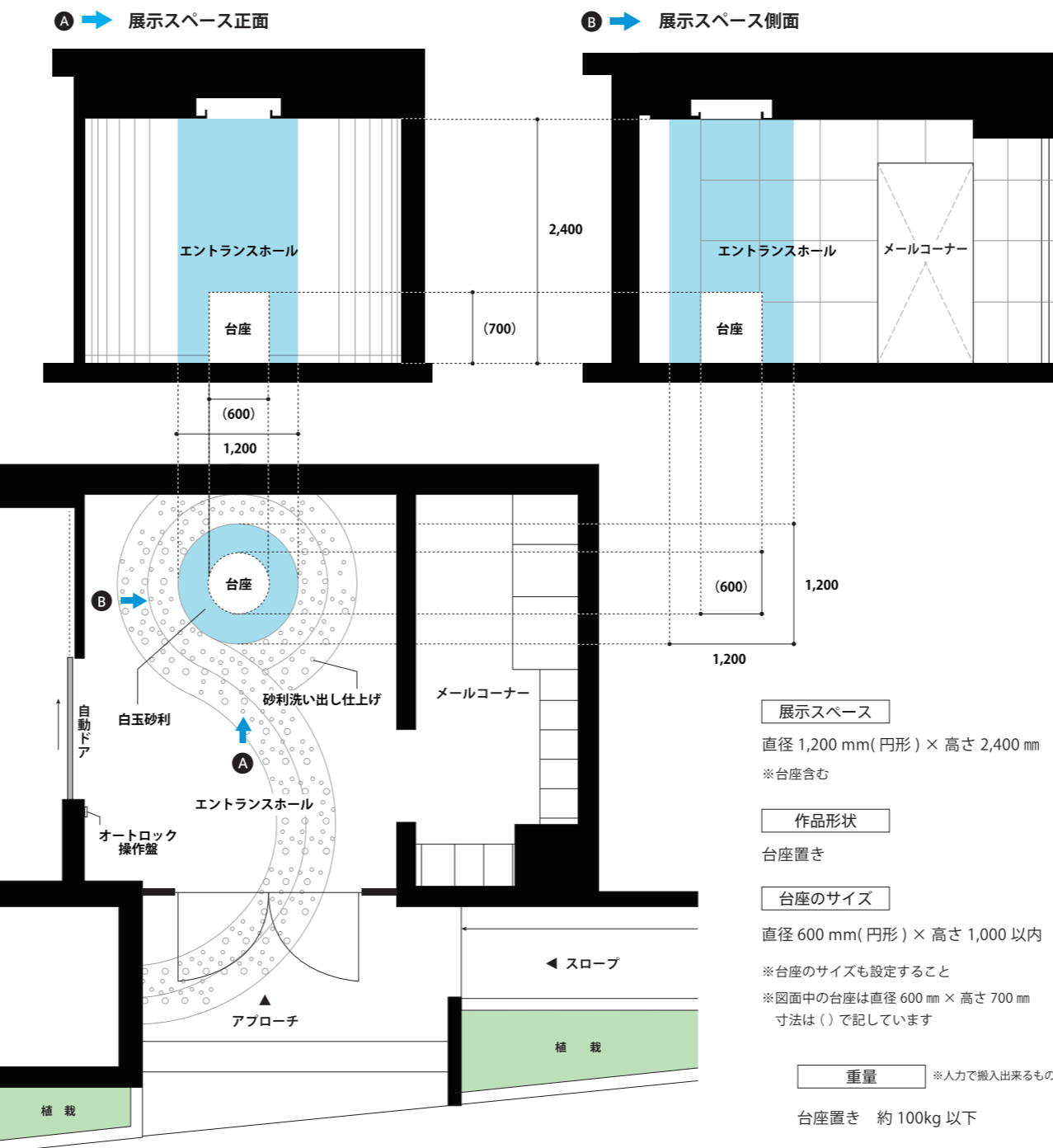
主催会社代表取締役会長 兼 CEO 一級建築士
1950 年福岡県生まれ。大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997 年にマンション設計・企画を中心とした株式会社アーバネットコーポレーションを設立。2000 年から投資用マンションの開発・1 棟販売事業を開始し、その後、ファミリーマンションや戸建ての開発・販売等、事業を拡大。2007 年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思い立ち、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

設置場所

設置マンション概要 2026 年 10 月完成予定
建物名称：「(仮称)アジュールコート下高井戸」
建設地：東京都杉並区下高井戸
建物用途：共同住宅 (1DK・2LDK)
住居者層：20～40 代の単身者・ファミリー
構造規模：鉄筋コンクリート造 6 階建
戸数：53 戸

エントランスホール図面

… 展示スペース



※仕上がりには数 cm 程度の誤差が生じる可能性があります。
正確なサイズを要する作品については、一次審査通過後ご相談ください。

※仕様は変更になる可能性があります。



展示スペースイメージパース

FAQ (よくある質問)

Q 未発表のオリジナル作品とはどういうものをいいますか？

A. 未発表の作品とは、不特定多数の人の目に触れていない作品をいいます。過去にコンペや展覧会に出した作品、学校の課題で発表された作品、SNS やウェブサイト等での公表した作品などは発表済みの作品となります。ただし、本コンペのために作品のアイデアを一部取り入れ、改善して応募する作品は、未発表作品とみなして応募の対象となります。また、オリジナル作品とは、自らのアイデアを具現化したものであり、他者の知的財産権を侵害しないものをいいます。

Q 入居者にとって安全で心地よい作品と記載されていますが、なぜでしょうか？

A. 作品はマンションのエントランスホールという公共の場に設置されますので、入居者や来訪者 (大人から子供まで) を傷つけることがないように、作品のデザインは先端がとがっていない、壊れにくいといった安全性を考慮したものに配慮が必要となります。また、マンションの入居者は毎日、作品を目にしますので、見るたびに気持ち豊かになるような、心地よい作品が望まれます。

Q 作品の台座制作費も、制作費 20 万円に含まれますか？

A. いいえ、含まれません。最終審査で使用する仮台座は受賞者と打ち合わせの上、事務局で制作します。

Q マンションの建っている場所や、居住者層を意識した作品の方がよいですか？

A. 公共の場に設置されるため、空間や居住者を意識すること (安全性、不快にならないか等) は選考の基準になりますが、作品のテーマは自由です。マンションの建っている場所や、マンションの居住者層について、作品のアイデアを考える際のヒントにはして頂いてかまいませんが、必ずしもそうした作品が入賞しているわけではありません。

Q 応募の際に気を付けることは何ですか？

A. 当コンペは実制作が前提となりますので、プレゼンシートには、実現可能なプランを書いてください。そのため、制作前の打ち合わせでは、実際の恒久展示を意識した素材やサイズの変更、重量の軽量化などの変更をお願いする場合があります。また、支給される制作費は 20 万円ですので、予算の範囲内で制作できるように気を付けてください。(20 万円を超えた場合は、その部分は自己負担となります。)

ほか、ご不明点は AAC 事務局 (下記お問い合わせ先) までお問い合わせください。

特別協賛

株式会社アセットリード / 伊藤忠都市開発株式会社 / 株式会社エルプラス / 株式会社共同設計事務所
株式会社グッドライフスタイルプラス / 株式会社クロスファクトリー / ケネディクス株式会社
株式会社合田工務店 東京本店 / 笹川測量株式会社 / 三信住建株式会社 / 株式会社 CVC
株式会社白設備設計事務所 / 株式会社陣設計 / 株式会社大和産業 / 多田建設株式会社 / 株式会社田中電気工業所
東急リパブル株式会社 / 東急不動産株式会社 / 東京建物株式会社 / 西日本鉄道株式会社 / 株式会社 PIM
株式会社ビーム・デザイン・コンサルタント / ホクシン設備株式会社 / マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社
三井不動産投資顧問株式会社 / 株式会社メイクス / 株式会社 明和 / 株式会社ユーエスアイ・エンジニアリング

協賛

株式会社葵コーポレーション / 株式会社アセット建設 / 株式会社エル設計事務所 / 株式会社核建築設計事務所
有限会社キューオーエルクリエーション / 一級建築士事務所 / 協立ソリューションズ株式会社 / 京王建設株式会社
株式会社後藤組 / 株式会社コルピソス / 坂田建設株式会社 / 三誠産業株式会社 / 株式会社シーファイブ
司法書士渡邊中央事務所 / 株式会社住宅新報 / 新三平建設株式会社 / 大東建託株式会社
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション / 株式会社中村建工 / 株式会社ニシヤマ建築デザイン / 日ポリ化工株式会社
株式会社不動産経済研究所 / 株式会社吉田正志建築設計室

賛助

株式会社アクシード設計事務所 / 株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所 / 株式会社アセンドホーム / アイデア株式会社
株式会社ウミイチ / エスバシ工建築工房 / 一級建築士事務所 / 株式会社オープンハウス・アーキテクト / 株式会社協栄組
協和株式会社 / 株式会社グローブアドバンス / 京阪電鉄不動産株式会社 / 株式会社設計工房イー・ディー
(50 音順・敬称略) タカラスタンダード株式会社 / 株式会社ディグアース / ナチュラルデザイン / 一級建築士事務所 / 株式会社柳学アーキテクト

リーフレット表紙

大島 愛未 / 武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 1 年 (AAC2026 ポスターコンペ最優秀賞 受賞作品)

主催 株式会社アーバネットコーポレーション 共催 株式会社アーバネットリビング、株式会社 ケーナイン (アーバネットグループ)

お問い合わせ先 AAC 事務局 Tel: 03-6550-9160 / e-mail: aac.compe@urbanet.co.jp https://aac.urbanet.jp/